

令和5年度 所沢市上下水道事業のあらまし

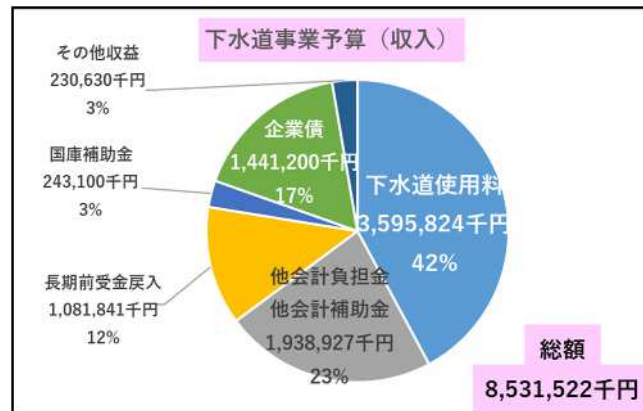
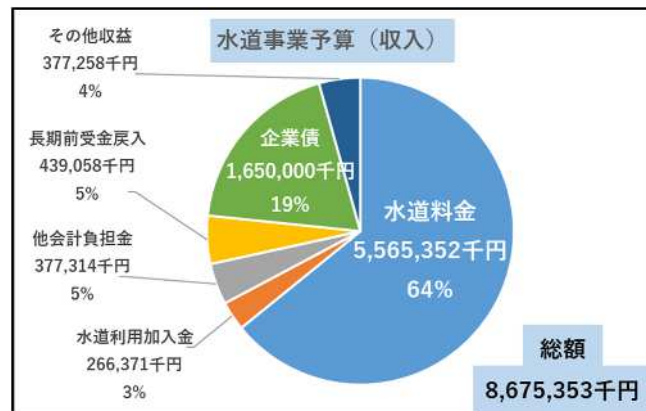
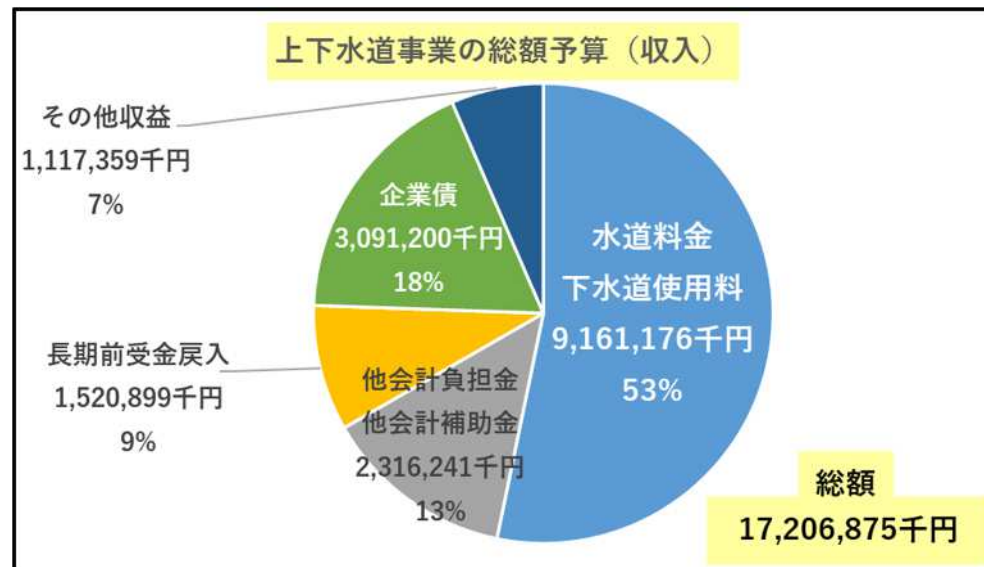
概要版（予算と主要事業のみ）

1) 令和5年度予算

地方公営企業の経理は、水道・下水道等の事業ごとに会計を設けて行うものとされています（地方公営企業法第17条）。さらに、それぞれの会計における予算は、市民の皆様へ水道水をお届けし下水処理をするといった営業活動を対象とした「収益的収支予算」と、上下水道に関わる施設・管渠の新設・更新といった建設改良等の営業活動以外の活動を対象とした「資本的収支予算」の2本立てとすることとされています（地方自治法施行令第17条第2項）。その結果、上下水道局の予算は、2会計4予算で構成されています。

【収入の部】

総額 消費税込み	内 訳			
		収益的収入	資本的収入	合計
17,206,875 千円	水道事業会計	6,786,740 千円	1,888,613 千円	8,675,353 千円
	下水道事業会計	6,324,835 千円	2,206,687 千円	8,531,522 千円
	合計	13,111,575 千円	4,095,300 千円	17,206,875 千円



【差し引き】

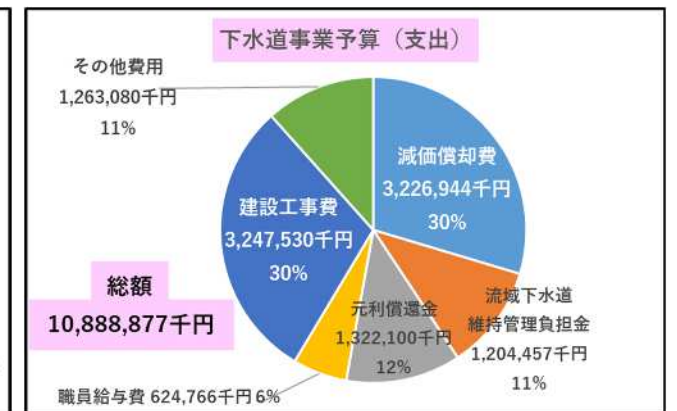
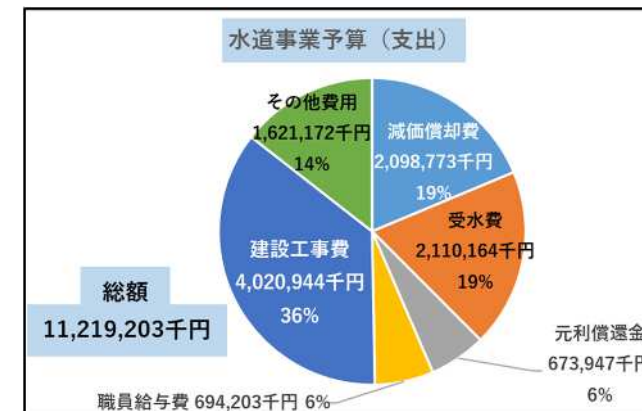
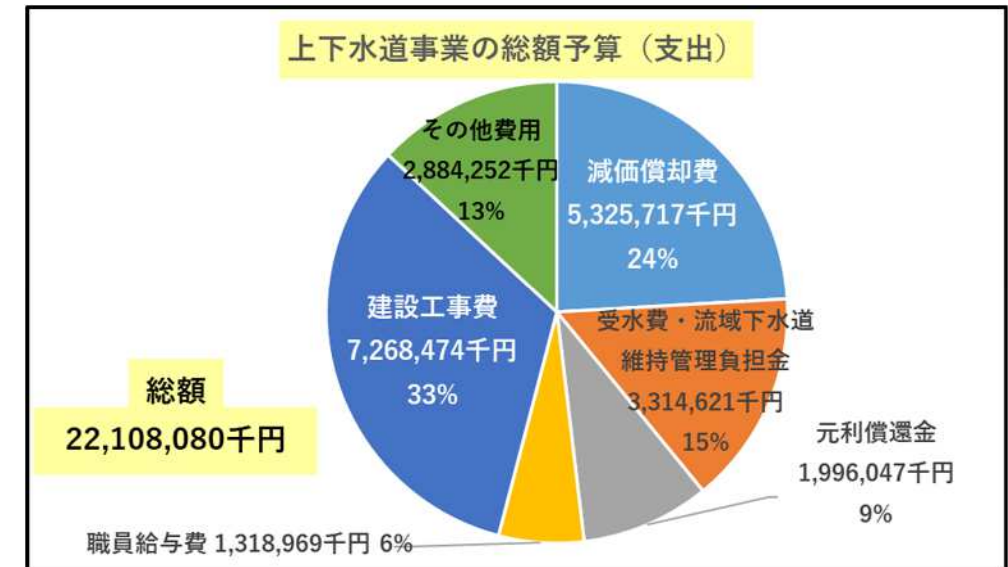
補てん財源総額 (令和4年度末)	内 訳			
	区分	損益勘定留保資金等	積立金	合計
6,322,623 千円	水道事業会計	3,685,727 千円	0 千円	3,685,727 千円
	下水道事業会計	2,636,896 千円	0 千円	2,636,896 千円
	合計	6,322,623 千円	0 千円	6,322,623 千円

収入総額 17,206,875 千円と支出総額 22,108,080 千円との差額は、マイナス 4,901,205 千円になります。

収益的収支の差額（税抜き）は純損益として表示され、資本的収支の差額（税込み）は「補てん財源」をもって不足額を補います。補てん財源は、企業の内部留保にあたるもので、減価償却費などの損益勘定留保資金や、毎年度の利益から次年度以降の建設工事や企業債（借入金）の返済のために積み立てた積立金から構成されており、建設改良事業の重要な資金源となります。

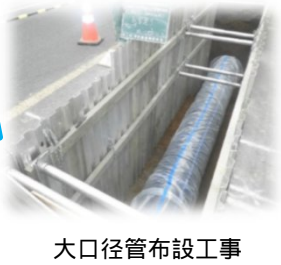
【支出の部】

総額 消費税込み	内 訳			
		収益的支出	資本的支出	合計
22,108,080 千円	水道事業会計	6,410,565 千円	4,808,638 千円	11,219,203 千円
	下水道事業会計	6,063,031 千円	4,825,846 千円	10,888,877 千円
	合計	12,473,596 千円	9,634,484 千円	22,108,080 千円



2) 令和5年度主要事業

実施計画		水道事業会計		予算額 (千円)
計画 コード	事業 ランク			
412	A	上下水道局庁舎照明LED化整備事業	総務課	R5 47,030 期間: R5~R6
	概要	老朽化が進んでいる上下水道局庁舎の照明をLED照明に改修することにより、庁舎照明設備の安定稼働を図るとともに、維持管理費削減及び消費電力量抑制による二酸化炭素排出量削減が見込まれ、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。		
652	B	出前教室実施事業	総務課	R5 30 期間: H28~
	概要	水道及び下水道の理解を深めるとともに、水の大切さに気付き、地球の環境保全に対する意識を高めることを目的に、市内小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、水道及び下水道の出前教室を行うものである。		
651	B	自主財源確保促進事業	経営課 窓口サービス課	R5 0 期間: H29~
	概要	長期的な社会貢献債等の購入・運用のほか、旧水道庁舎跡地の貸付けによる水道事業資産の有効活用、検針票及び上下水道局広報紙への民間事業者等の広告掲載により、自主財源を確保し、企業経営の健全化に努めるものである。【収入見込額】11,217千円		
651	A	インボイス制度の開始に伴う料金システム改修事業	窓口サービス課	R5 4,326 期間: R5
	概要	消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)が令和5年10月から導入されることに伴い、水道料金及び下水道使用料の納入通知書等をインボイス制度に対応するため、システム改修を行うものである。		
651	B	クレジットカード決済導入事業	窓口サービス課	R5 13,205 期間: R5~
	概要	水道料金及び下水道使用料の支払におけるキャッシュレス化により、市民の利便性を向上し、デジタル社会の実現に寄与するため、クレジットカード決済を導入するものである。		
653	B	給水装置リモート検査事業	窓口サービス課	R5 743 期間: R5~
	概要	職員が立会いの下で行う給水装置工事検査の一部について、リモート(遠隔)での検査を実施するため、タブレット型端末及びスマートフォンを導入するものである。効率的な工事検査の実施や車両使用の抑制による二酸化炭素の排出削減等の効果が見込まれる。		
653	A	水道管整備事業	水道建設課	R5 3,176,306 期間: R3~R12
	概要	「所沢市水道事業経営計画」に基づき、老朽化した水道管(口径400mm以上の大口径管、重要給水施設管路を含む口径400mm未満の小口径管)の耐震化を含めた更新を行うものである。また、区画整理事業等に伴う配水管の布設を必要に応じて実施する。		
653	A	浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)	給水管理課	R5 39,578 期間: R4~R18
	概要	アセットマネジメント手法を用いて将来の更新需要を分析し、老朽化した当該施設の耐震性や規模の適正を検討した結果、ダウンサイジングを見据えた西部浄水場の全体の再構築を行い、配水池や管理棟などすべての場内施設を計画的に更新するものである。		
653	A	浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課	R5 48,654 期間: H19~
	概要	浄水場の着水井等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合には、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。		
652	B	取水井保全事業	給水管理課	R5 11,330 期間: H5~
	概要	湯水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保するものである。		
653	B	浄水場施設・設備更新事業	給水管理課	R5 149,860 期間: H23~
	概要	アセットマネジメント手法を用いて将来の更新需要を分析し、各浄水場の電気設備やポンプ設備などの水道施設を計画的に更新するものである。		



実施計画		下水道事業会計		予算額 (千円)
計画 コード	事業 ランク			
664	A	下水道事業経営計画改定事業	経営課	R5 2,801 期間: R5~R6
	概要	令和6年度に計画の期限を迎える「所沢市下水道事業経営計画」について、国の技術的な助言に基づき、令和7年度から令和16年度の10年間を新たな計画期間として改定を行うものである。		
661	B	自主財源確保促進事業	経営課 窓口サービス課 下水道維持課	R5 8,060 期間: H30~
	概要	上下水道局の公有財産であるマンホール蓋(デザインマンホール・イルミネーションマンホール)、検針票及び上下水道局広報紙への民間事業者等の広告掲載により、自主財源を確保し、企業経営の健全化に努めるものである。【収入見込額】11,016千円		
662	A	下水道管渠布設事業	下水道整備課	R5 2,155,723 期間: H15~R9
	概要	「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第4期整備事業として整備区域の拡大を図るものである。また、第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業及び北秋津・上安松・若松町下水道整備事業として、汚水管の布設を進めるものである。		
663	A	下水道地震対策事業	下水道整備課	R5 268,000 期間: H21~R9
	概要	「所沢市下水道総合地震対策計画」に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている管渠やマンホール等の耐震化を進めるものである。		
663	A	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課	R5 40,000 期間: R5~R7
	概要	令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造するものである。		
664	A	雨天時浸入水対策事業	下水道維持課 下水道整備課 窓口サービス課	R5 221,753 期間: R3~
	概要	汚水管への雨水の流入を抑制するため、「所沢市雨天時浸入水対策計画」に基づき、発生原因箇所への対策及び施設対策を実施するものである。		
663	B	雨水浸透化事業	下水道整備課	R5 81,759 期間: H30~R6
	概要	都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となり、市内各所で内水被害が発生していることから、被害の軽減を図るため、道路雨水樹浸透化等を進める。対象地区は、内水被害箇所を記した内水ハザードマップを活用し選定する。		
664	B	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課	R5 328,892 期間: H23~
	概要	「所沢市下水道ストックマネジメント実施方針」に基づき、予防保全を中心とした計画的な下水道管渠の維持管理や更生・布設替え等を行い、事業費の平準化を図るとともに、下水道機能を持続的に維持するものである。		



イルミネーションマンホール蓋広告
イラスト: あらいずみいり ©神坂一・あらいずみいり

